

空知教育センター組合教育大綱

教えと学びをつなぐところ 空知教育センター



令和4年2月9日

空知教育センター組合

空知教育センター組合教育委員会

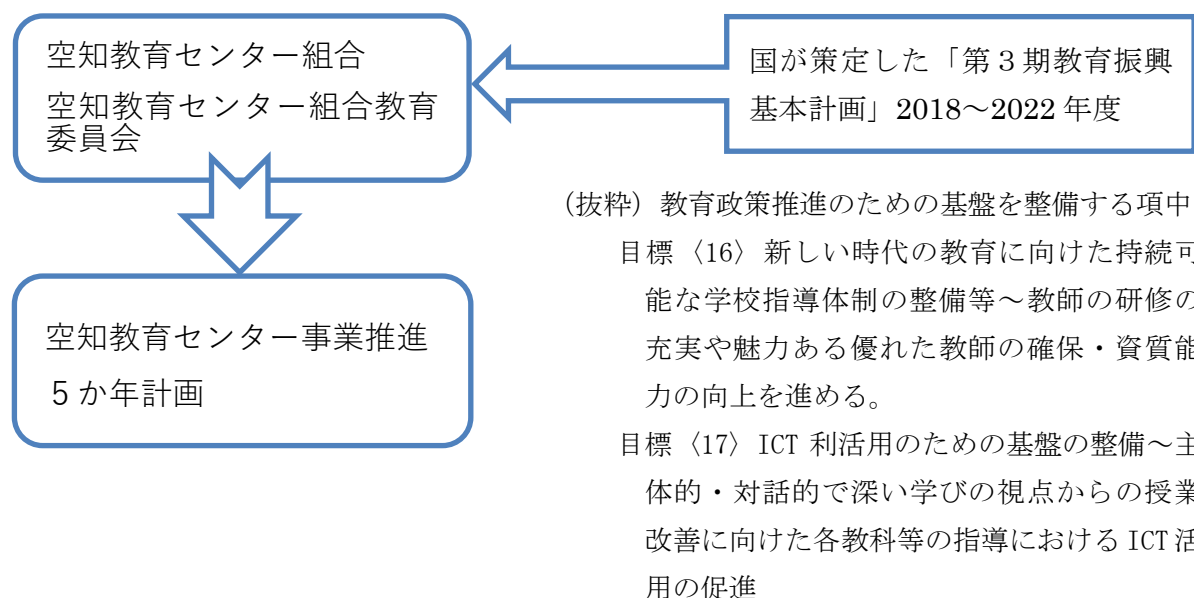
空知教育センター組合教育大綱

1. 教育大綱策定の趣旨

- (1) 平成27年、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されました。この改正は教育行政の政治的中立性、継続性、安定性の確保を維持しつつ、地方公共団体の長の意向が反映できるよう、地方公共団体の長による大綱の策定と総合教育会議の設置を定めるなど制度の抜本的な改革を目的とするものです。
- (2) 空知教育センター組合教育大綱(以下「教育大綱」という。)は、この法律改正の趣旨に沿って本組合が規約に基づいて実施する、空知総合振興局管内の小中学校教職員の研修及び研修に係る調査研究の実施並びに教育の理論と実践に係る研究の推進を図るため、組合長と教育委員会をもって構成する総合教育会議において、協議し、又は調整するものです。
- (3) 平成27年10月、総合教育会議において、その時点での空知教育センター運営3か年計画との整合性を図り、平成27年度から平成28年度間の教育大綱を協議し策定しました。
平成29年2月、総合教育会議において、空知教育センター事業推進5か年計画をもとに、平成29年度から平成33年度(令和3年度)間の教育大綱を協議し策定しました。
- (4) 令和4年度から、空知教育センター事業推進5か年計画(以下「事業推進計画」という。)が開始するにあたり、新たな教育大綱を総合教育会議で協議し策定するものです。

2. 教育大綱と事業推進計画の関係

教育大綱は、本組合が実施する教職員の研修事業及び研究事業等の施策について、国の「教育振興基本計画」を参酌しながら、重点的に取り組む事業の根本となる方針を示したものです。



3. 教育大綱の期間

教育大綱の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

4. 教育大綱の体系

◆事業推進のテーマ

教えと学びをつなぐところ 空知教育センター

人は人に教えることによって自分も成長する。その成長を見て、さらに相手も成長してくれる。このことは子どもであれ、教師であれ、社会人であっても変わるところはありません。とりわけ、子どもの健やかで確実な成長に直接携わる教師は、経験年数をいくら重ねても、自らが他者に学び、課題解決のために学ぼうとする態度を常に持ち続けることが大切です。

これまでの自己の取り組みを再確認し、新たな授業改善や専門性向上のきっかけと出会うことのできる空知教育センターは、教職員が実践的指導力を磨き、自信をもって子どもの前に立つために教えと学びをつなぐところであります。

◆事業推進の基本方針

未来社会が複雑で予測困難な時代になっても、持続可能な社会の創り手となりことが期待される子どもたちに、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動することのできる「生きる力」を育成するためには、創意工夫を生かした特色ある教育活動を通して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことが大切です。

さらに、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、学習指導・特別支援教育の改善充実及びギガスクール構想におけるICTの活用などを中心課題として押さえ、その達成のために必要となる資質・能力を身につけるための研修事業、研究事業及び情報発信事業を推進します。

◆事業推進の重点施策、事業概要

(1) 実践的指導力の向上に資する研修事業

児童生徒の人格形成に大きな影響を与える教職員には、教科等に関する専門知識や広く豊かな教養はもちろんのこと、これからはギガスクール構想を支えるICT活用指導力の向上が強く求められています。空知教育センターは、教師力と学校力の進歩を目指し、魅力ある優れた教職員を育成するため、次の事業を実施します。

主な事業：ギガスクール対応講座、外国語講座、教科教育講座などの研修事業

(2) 今日的な教育課題を解明し、その成果を活かす研究事業

超スマート社会（Society5.0）が到来しようとしている新時代の学びを実現するためには、教育課題解決に向けた先進的な取組と学び合い、高め合う教職員集団の核となる人材の育成が強く求められています。空知教育センターは、これからの時代を見据えた教育課題の解明に資するため、次の事業を実施します。

主な事業：理論研究や指導案検討及び模擬授業・検証授業などを推進する教育研究事業

(3) 教育活動の充実に活用できる情報発信事業

教職員が教育活動に利活用できる実践事例として、空知教育センターの研修、研究事業の推進状況とその成果や空知管内小中学校及び教育研究団体の活動を発信するため、公式ホームページの充実を図ります。